

(一般・代表) 質問通告書

令和 7年 11月 27日
14時 13分受付 ①番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 11月 27日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

質問事項

1. 市の専決処分、随意契約について問う 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

政府備蓄米のお届け便事業で、専決処分、随意契約に至った経緯について、市民、議会に対して、丁寧な説明責任が求められている。専決処分による随意契約については、特定の業者への不当な便宜供与を防ぎ、契約内容、契約の相手の決定又は選定基準、申請の公正かつ透明性が規定され公表が定められている。法令の要件を満たさずに恣意的に行われたのではないか、適正に運用されたか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 地方自治法施行令第179条に基づく専決処分に至った経緯と理由について尋ねる。
- (2) 地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づく随意契約について尋ねる。
- (3) 入札・契約制度の概要に沿った手順ではなく、恣意的に相手を選定したのではないか。
- (4) 随意契約の基準額 (地方自治法施行令第167条の2第1項第1号) について尋ねる。
- (5) 専決処分、随意契約は、法令の要件を満たしたものであるか問う。

質問事項

2. 特別支援教育サポーターの謝金に関して問う 【補助資料 有・無】 (市長 教育長)

質問要旨 (課題・問題点等)

学校支援員について、人数の増加を目的で見直され、特別支援教育サポーターとして、謝金の支払いに変更された。勤務が雇用から協力へ形態変更になっているが、学校長等の指揮命令下で労務しており、継続的な勤務実態であるのに、形式上「謝金」によって報酬を支給している場合は、労働関係法令および地方公務員法等に違反のおそれが極めて高い。また、労働条件の明示、労働時間管理を怠り、社会保険・雇用保険の適用を回避している現状は、労働基準法及び、労働契約法の趣旨に反する違法な契約に該当するのではないか。学校支援員の雇用形態、謝金について市長・教育長に問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 特別支援教育サポーターの採用要領、労務契約、勤務日・勤務時間等について尋ねる。
- (2) 学校長等の指揮命令下で労務を提供されているのか問う。
- (3) 特別支援教育サポーターの労務が労働基準法第9条、第11条について抵触すると考えるが見解を尋ねる。
- (4) 特別支援教育サポーター労務に問題があると思うが、地方公務員法・地方自治法上に基づいたのか尋ねる。
- (5) 実態の確認と是正措置を講じる『法的説明責任(アカウンタビリティ)』について問う。

(一般・代表)質問通告書

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 橋間 順平

質問事項

3. 学校給食センター業務委託契約、追加工事契約の金額について尋ねる【補助資料 有 (無)】
(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

公募型プロポーザル方式 PFI 契約、アドバイザー業務委託契約について、不明瞭な追加工事契約の金額について問う。

質問明細 (具体的に)

(1) 学校給食センターの PFI・業務委託契約、追加工事契約の金額について尋ねる。

(一般・代表)質問通告書

令和 7年 12月 2日
10時 43分受付 ②番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 12月 2日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 後藤理恵

質問事項

1. 市民活動団体への支援補助のあり方について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

本市には市民が主体となって地域課題の解決や社会貢献を目指し、「公益」の実現のために自主的に行う非営利の団体が多く活動されている。市は市民活動団体を支援し、市と市民活動団体との協働関係の推進及び市民活動の活性化を図るため、支援補助事業を実施されているが、実際、市民活動団体が長期的、計画的な視野に基づく事業を継続するには、活動の担い手不足や資金不足などの様々な課題がある。市民活動団体への支援補助は単なる資金援助でなく、団体の成長と自立を促すため、多様な手法を組み合わせることが重要だと考える。そこで、本市の市民活動団体への支援補助のあり方について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 本市の市民活動団体の現状について問う。
- (2) 市民活動団体が抱える課題について問う。
- (3) 市の支援補助の考え方について問う。
- (4) 市の支援補助事業の現状について問う。
- (5) 今後の補助制度のあり方について問う。

質問事項

2. 高齢者の外出支援について

【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

少子高齢化が進み、高齢独居や高齢者のみ世帯が年々増えている。高齢者にとって日常的な外出はひきこもりや孤立の防止、認知症予防、生活意欲や生きがいを高めるなどのメリットがある。高齢化に伴う外出支援には自治体による公共交通の補助、介護・福祉サービスによる送迎や付き添い、住民ボランティアによる支援活動など様々なサービスがある。高齢者の健康維持や社会参加の促進に本市は今後どのように外出支援を充実させていくかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 本市の高齢者人口の現状について問う。
- (2) 本市の公共交通の現状について問う。
- (3) 本市の高齢者の外出支援の現状について問う。
- (4) 今後の外出支援の充実を図るための具体策について問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 11月 25日
10時 50分受付 1番

令和 7 年 11 月 25日

会派名 自由の風

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 高木 良郎

質問事項

1. 小郡市雨水貯留施設等設置基準の内容を問う 【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和7年10月に小郡市における雨水貯留施設等設置基準が定められたが、その設置基準の目的と効果を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) このような基準を運用している自治体の数とこれまでの対象件数について問う。
- (2) 適用対象表では宝満川右岸域の市街化調整区域の適用のみにした理由について問う。
- (3) 市全体での流域治水の取り組みになっていない様に思えるが対象外になっている理由について問う。
- (4) 容量の算出方法の根拠について問う。
- (5) 設置基準の内容の詳細を踏まえ具体的施策について問う。

質問事項

2. 小郡市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の内容を問う

【補助資料 有・無】 (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

令和7年4月14日付で新しく任期付職員が採用された。
そこで、改めて任期付職員とは何かという事を地方自治法の一般職の任期付職員の採用に関する法律及びこれに関する小郡市条例に基づき問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 小郡市における任期付職員の数と採用条件について問う。
- (2) 小郡市条例第2条 (法律3条) における高度の専門的知識又は優れた職見とはどういうものか (特定任期付職員)。
- (3) 条例7条における特定任期付給与表の適用基準について問う。
- (4) 職員の役職定年と給与の3割カット (60歳) と特定任期付職員との違いについて問う。
- (5) 特定任期付職員の位置付けについて問う。

(一般)代表)質問通告書

令和 7年 11月 26日
8時 30分受付 2番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和7年11月26日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 黒 岩 重 彦

質問事項

1. 公用車の適正管理と駐車場不足解消に向けた取組について【補助資料 有・(無)(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

公用車は、自治体の業務遂行には不可欠な存在であるが、運用や管理について様々な課題があると思われる。財政健全化に向けて公用車の運用効率の改善や台数の削減、リース契約の導入等による費用削減の取り組みが進められている自治体もある。そこで、本市の公用車管理の現状と課題並びに適正管理のためにどのように考えてあるのかを問う。

次に市役所駐車場については、庁舎敷地では市民の駐車スペースを優先して確保されているがとても十分とは言えず、本庁舎前は満車状態となるケースが多々ある。また、新庁舎建設はすぐに出来るとは考え難く、併せて現在建設中の体育館についても駐車スペースは手狭であるため、前回議会で質問した高速道路高架下の有効活用も含めた新たな駐車場の整備についての進捗状況と市民利用の一般車両駐車場の拡大について市としての見解を問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 公用車の保有台数及び管理に必要な経費について問う。
- (2) 公用車の適正台数について問う。
- (3) ガイドライン等に基づく車両の新規購入や買替更新基準はあるのか。
- (4) 公用車のリース契約の導入について問う。
- (5) 公用車管理システムの導入などのデジタル管理に向けた取組について問う。
- (6) 公用車のドライブレコーダー設置導入について問う。
- (7) 民間企業の有料広告掲載などの官民連携について問う。
- (8) EV自動車（電気自動車）の導入について問う。
- (9) 公用車の地域住民への貸し出しを含めたカーシェアについて問う。
- (10) 市役所や体育館の駐車場として相互利用が可能な高速道路高架下の整備について問う。

2. 水泳授業民間委託による学校プールの今後の在り方について【補助資料 有・(無)(市長)

質問要旨（課題・問題点等）

令和7年度より小学校の水泳授業が民間委託されることにより、将来的な施設の更新や維持管理費、管理面での教員の負担軽減、解体後の敷地の利活用等コスト面も考慮するとメリットは大きいと、この事業目的に提起されていた。民間委託による水泳授業が開始されて8箇月経過しており、コスト面における負担軽減が達成出来ているのか、また使用しない学校プールの維持管理状況と各学校の課題に応じた解体計画は検討されているのか問う。

質問明細（具体的に）

- (1) 水泳授業民間委託によるコスト削減の状況について問う。
- (2) 現在の学校プールの維持管理状況と安全に配慮した衛生環境の確保について問う。
- (3) 未使用の学校プールの解体計画並びに学校敷地の有効活用について問う。

(**一般**・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 11月 26日
12時 51分受付 3番

令和 7年 11月 26日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 甲斐田典彦

質問事項

1. 安心して暮らせる高齢社会の対策について 【補助資料 **有**・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

今年8月、令和7年版高齢社会白書が発表された。白書では、令和6年10月1日現在で65歳以上の総人口に占める割合は29.3%。また、高齢者人口に占めるひとり暮らしの高齢者の割合は、令和2年調査ではあるが、男性が15%、女性が22.1%となっている。

本市において、このように増加傾向にある高齢者、特に単身高齢者に対して、どのような取り組みがあり、今後、どのように支えていくのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 高齢者の中でも後期高齢者や単身高齢者の生活不安、孤立のリスクなどに対し、市としてどのような取り組みが行われているかを問う。
- (2) ひとり暮らしの高齢者が増える中、「持続可能な権利擁護支援モデル事業」への参加について市の見解を問う。
- (3) 軽度難聴の高齢者が安心して相談できる為に、軟骨伝導イヤホンの早期導入ができないかを問う。

質問事項

2. 視覚障がい者への取り組み、支援について 【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

小郡市では「第7期障がい福祉計画」に基づき、視覚障がい者を含む障がい者の地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めている。その中で視覚障がい者の「安心なお出かけ」を支える日常の同行援護支援やICT機器の活用など、また視覚障がい者への災害に対する支援及び今後の取り組みを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 同行援護支援の利用状況、同行援護従業者の確保状況、また利用者からの声をどのように把握・反映しているか、そして同行援護支援に対する効果及び課題を問う。
- (2) ICT機器の活用、スマートフォンや音声読み上げ機器を活用する際の支援体制(講習会、個別支援、相談窓口など)の現状と課題を問う。
- (3) 視覚障がい者への災害に対する取り組みはどのように行われているかを問う。
(避難情報の伝達、避難所への誘導、訓練など)

年度別 世帯数推移

(単位:人)

集計時期	全世帯数	高齢者単独世帯数(A)				高齢者夫婦のみ の世帯数(B)	A・B以外の高齢者 同居世帯数(C)	高齢者のいる世帯数 (A+B+C)と 全世帯数との比率	
		男	女	男女合計と 全世帯数との比率					
令和5年4月1日	25,791	1,051	2,980	4,031	15.6%	3,865	3,627	11,523	44.7%
令和6年4月1日	25,814	1,097	3,059	4,156	16.1%	3,915	3,552	11,623	45.0%
令和7年4月1日	26,462	1,115	3,134	4,249	16.1%	3,963	3,502	11,714	44.3%

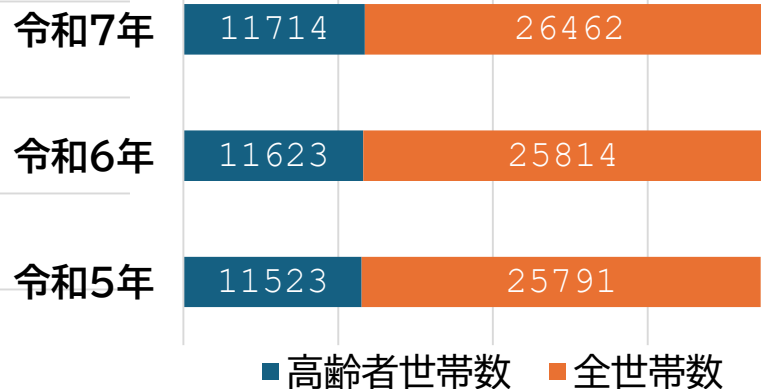
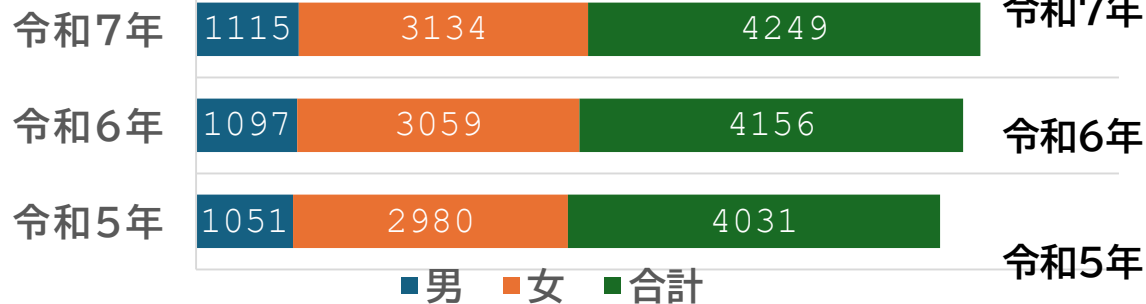
直近2年で約3%増。

全体世帯数に対し、約16%を
単身ご高齢が占めている。

全体世帯数のうち、半数弱をご高齢
者世帯が占めている。

高齢者単独世帯数

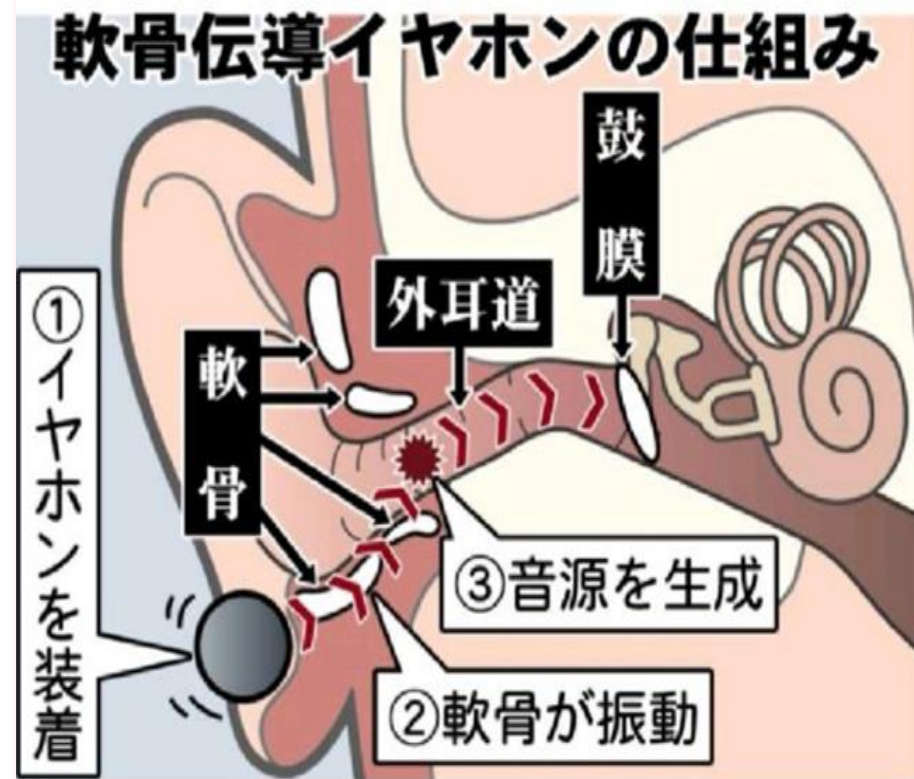
全世帯数に対する高齢者の割合



令和7年高齢社会白書 トピックス

<軟骨伝導イヤホンの特徴>

項目 じこうちょりゅう	軟骨伝導 せいしき
①清潔か、耳垢貯留か	清潔・完全清拭
②耳の病気の原因	病気なし
③耳のつまり感	なし
④周囲の音が聞けるか	聞ける
⑤食事時	そしゃくおん 咀嚼音響かない
⑥水中での聴取	クリアに聞ける
⑦耳ツボ刺激効果	あり
⑧耳裏からの音入力 (メガネ型など)	可能
⑨審美性(形)	自由 (穴、凹凸のない完全球形 やディスク型など)



（一般）代表）質問通告書

令和 7年 11月 27日
11時 22分受付 4番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 11月 27日

会派名

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員

新 原 善 信

質問事項

1. つながり支え合う地域共生社会づくりについて【補助資料 有・無**】（市長）**

質問要旨（課題・問題点等）

小郡市では、高齢者はもとよりあらゆる世代でひとり暮らし世帯が増えている。また、自治会に入らない世帯も増え地域のつながりが弱まって地域自治や地域福祉の担い手が減少している。これに伴い、地域の中で孤独孤立化する市民も増えている。厚生労働省は、「人と人とのつながりそのものがセーフティネット」として、地域住民の参画と協働により、だれもが支え合う共生社会の実現を目指す必要があるといってきた。小郡市ではその具体的取り組みとして重層的支援体制整備やふれあいネットワークなどがある。そこで今後、地域共生社会実現に向けてどのような取り組みをしていくのかを問う。

質問明細（具体的に）

- （1）ひとり暮らし世帯と自治会加入及び高齢者見守りの状況はどうか。
- （2）増え続ける外国人住民の就労、地域及び学校での状況はどうか。
- （3）地域での孤独孤立相談支援体制及び多文化共生の取り組みをどう進めるか。

質問事項

2. 小学校のSSR全校配置について【補助資料 有・無**】（教育長）**

質問要旨（課題・問題点等）

文部科学省は令和6年度の不登校児童生徒数が35万4千人で過去最多と公表した。特に小学校低学年では保護者の就労にも影響が出ているという。これに対し、小郡市では令和6年9月から市内4小学校に校内教育支援センター（SSR）を設置し、効果を上げていると聞く。いまだ未配置の4小学校にも設置するべきである。併せて、現場からは指導体制および施設設備の充実が熱望されている。市教育委員会の計画を問う。

質問明細（具体的に）

- （1）小郡市の小学校不登校児童および保護者の置かれた状況はどのようなものか。
- （2）現在設置済みの4小学校のSSRの現状、成果と課題は何か。
- （3）未配置の4小学校では不登校児童の指導体制はどうなっているか。また、SSR設置の計画はどうなっているか。

(**一般**・代表)質問通告書

令和 7年 12月 1日
9時 15分受付 5番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 12月 1日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小 野 壽 義

質問事項

1. 空き家の状況把握と対策について 【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

近年、全国的に空き家の増加が報道されている。これは人口減少によるものや都心部への移住が大きな原因になっている。空き家が抱える問題は、地域住民の環境の悪化や特定外来生物が住み着き農産物への影響などが出ている。

11月18日に大分市佐賀関で発生した大規模火災は、空き家が多い地区であり強風と重なり火災が広範囲に広がり、風災と言われている。空き家は燃えやすく、環境衛生にも影響を及ぼす。

消防署や警察、そして自衛隊が出動して消火活動を行ったが、鎮火には10日以上かかっている状況である。また、地元消防団員の活動も長期に渡っている。

このような災害は小郡市でも起こり得ると考えるので、市の空き家の状況把握と対策を問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 空き家になる原因をどう考えるか。
- (2) 空き家の件数と状況把握について問う。
- (3) 空き家の所有者への対策について問う。
- (4) 特定空き家の現状把握について問う。
- (5) 空き家が与える近隣住民への環境と問題について問う。
- (6) 固定資産税と空き家の関係、また特定空き家と固定資産税の関係について問う。
- (7) 空き家を減らすための対策と施策について問う。

質問事項

2. 消防団員の確保について 【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

現在、市消防団については数名の欠員があるが、負担を軽減するために団員確保が必要と考える。団員の確保はどのように行われているのかを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 現在の団員欠員人数は。
- (2) 団員の欠員状況で消防団活動に影響はないか。
- (3) 団員確保は各分団で行われているか、市の協力はあるのか。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 12月 1日
10時 55分受付 6番

令和 7年 12月 1日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 山田 忠

質問事項

1. 農業の現状について

【補助資料 有 (無) (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

農水省は2025年農林業センサス調査結果(精査が済んだ統計の概数値)を公表した。それによると基幹的農業従事者は5年前の前回調査から34万2000人(25.1%)減少し、減少率は過去最大である。農業経営体は24万7000減少し、82万8000経営体で、初めて100万を割った。また、一農業経営体当たりの経営耕地面積は3.7haで、5年前の調査から0.6ha増加しており、20ha以上の農業経営体が耕地面積の半分以上を担う。これらの数字をもとに今後の市の農業をどのように予測し支援されるか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 5年後の基幹的農業従事者の予測について問う。
- (2) 農業経営体の現状と課題について問う。
- (3) 農業生産額の推移について問う。
- (4) 新たな担い手の確保について問う。

質問事項

2. 米価高騰が及ぼす市民への影響について

【補助資料 有 (無) (市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

米の価格高騰は今なお深刻な問題となっている。食料品・生活用品の価格が高騰している中で米価高騰は、家計への負担をさらに増加させている。この米価高騰が及ぼす市民生活への影響をどのように捉えているのか問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 子育て世帯に対する支援について問う。
- (2) 高齢者世帯に対する支援について問う。

(一般・代表)質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 12月 1日
23時 8分受付 7番

令和 7 年 12 月 1 日

会派名 みらいの会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 内 山 伸 博

質問事項

1. 宝満川左岸地区の地区計画等による新規住宅の現状について【補助資料 無】

(市 長)

質問要旨（課題・問題点等）

宝満川左岸地区は、昭和46年線引きにより市街化の促進を規制する市街化調整区域とされ、住宅建設が制限されてきました。しかし、筑後小郡インターチェンジの建設以降は、大規模既存集落や地区計画、都市計画法第34条第12号区域指定により一定新規に住宅が建設されているようだが、指定による宝満川左岸地区の新規住宅の現状について問う。

質問明細（具体的に）

- （1）大規模既存集落区域指定による新規住宅の実績について問う。
- （2）地区計画による新規住宅の実績について問う。
- （3）都市計画法第34条第12号区域指定による新規住宅の実績について問う。
- （4）インター周辺まちづくり構想（生活にぎわいゾーン）の進捗状況について問う。
- （5）花立地区地区計画の進捗状況について問う。

(一般)質問通告書

令和 7年 12月 2日
3時 6分受付 8番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 12月 2日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 佐藤 源

質問事項

1. これからの消防団について

【補助資料 無】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

消防団は消火活動のみでなく、地震や豪雨など大きな災害の際に、救助活動、災害防御活動など非常に重要な役割を果たしている。小郡市にとって、消防団の活動を維持していくことは大変重要なことだと考える。しかし、全国各地で消防団員数の減少、消防団員の高齢化が叫ばれており、ここ小郡市でも例外とは言えない。これからの消防団に対して、小郡市はどのように考えているのかについて問う。

質問明細（具体的に）

- （1）消防団員の定数と充足率、平均年齢はどうなっているのか。
- （2）ポンプ車をはじめ、機械器具の更新についてどのように考えているのか。
- （3）火災の際に消防団員を招集する際はどのようにしているのか。

質問事項

2. 学校における防犯対策について

【補助資料 無】（教育長）

質問要旨（課題・問題点等）

全国で学校内における犯罪が続発している。つい先日には、児童の盗撮画像をLINEで共有していた教師のグループで7人もの逮捕者が出ており、被害に遭った児童、その保護者への影響は甚大である。全国各地ではその他にも多くの事件が学校内で発生している。小郡市では、学校内における犯罪をどのように考えているのか。また、その防止について対策を取っているのかについて問う。

質問明細（具体的に）

- （1）学校内で犯罪を抑止する方策をとっているのか。
- （2）児童生徒が被害者になった場合など、どのように心理的・精神的なケアをしているのか。
- （3）保護者に対して迅速な情報提供ができているのか。

（一般・代表）質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 12月 2日
8時 46分受付 9番

令和 7年 12月 2日

会派名 _____

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 小坪 輝美 _____

質問事項

1. 誰もが安心安全に学ぶことができる学校について 【補助資料 有・無】（教育長）

質問要旨（課題・問題点等）

2023年度に児童生徒や同僚らへの性暴力・セクハラで処分された公立学校の教員は320人。そのうち、子どもへの性暴力による処分は157人。学校別では中学校では67人、小学校が35人。また、2024年度の不登校の小中学生は35万3,970人。いじめの認知件数は732,568件とのこと。このような状況は、学校が安心安全に学ぶことができる環境になっていないことを示しているのではないかと。今回、小郡市の学校の現状や取り組みについて尋ね、誰もが安心安全に学ぶことができる学校のあり方について問う。

質問明細（具体的に）

- （1）子どもを性被害から守るための取り組みについて尋ねる。（教師への指導・子どもへの指導）
- （2）いじめの現状と対策・支援について尋ねる。
- （3）特別な配慮を要する児童生徒の現状と支援について尋ねる。
- （4）不登校の現状と対策・支援について尋ねる。
- （5）誰もが安心安全に学ぶことができる学校であるためには、どのような取り組みが必要か尋ねる。

（一般・代表）質問通告書

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年12月 2日
8時 58分受付 10番

令和 7 年 12 月 2 日

会派名 公明党

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 田中雅光

質問事項

1. 協働のまちづくりについて

【補助資料 有・無】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

令和4年9月に「小郡市みんなですすめるまちづくり条例」が制定された。これまで何度も質問してきた内容だが、令和5年にまちづくりガイドラインが示され、いよいよ条例の理念を具体化した地域自治の形が固まっていく事だと思う。そこで、今後市がめざすまちづくりについて詳細を問う。

質問明細（具体的に）

- （1）ガイドラインの協働のまちづくりに期待された効果や検証について問う。
（住民参加や人材育成、担い手の確保、まち協役員や区長、民生委員などの役割分担）
- （2）これから目指すまちづくりの形について問う。
（地域ごとのまちづくり計画の進捗、もっとつながるまち小郡アクションプランで掲げていた地域分権の推進との関係）
- （3）「みんなですすめるまちづくり」が目指す姿について問う。

質問事項

2. 地域公共交通の課題について

【補助資料 有・無】（市長）

質問要旨（課題・問題点等）

地域公共交通は生活の基盤となる大切な存在だ。コミュニティバス廃止後、乗り合いタクシーやのるーと小郡が本格稼動をはじめた。ドア to ドアで利用しやすい反面、利用者から多くの困惑の声も聞こえてくる。これからの地域公共交通をどのように考え作り上げていくのか市の方向性を問う。

質問明細（具体的に）

- （1）のるーと小郡の利便性を問う。
- （2）今後の公共交通の考えを問う。

(一般・代表)質問通告書

令和 7年 12月 2日
11時 23分受付 11番

下記のとおり質問したいから通告します。

令和 7年 12月 2日

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場美紀

質問事項

1. 産婦健康診査と産後ケアについて 【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

平成 29 年に国が創設した産婦健康診査は、現在実施されていない。産後うつや新生児虐待を予防する観点からも、産後 2 週間や 1 か月といった早い時期に、母体の健康状態をしっかり把握することは重要である。また、産婦健診検査と産後ケアを組み合わせることで、より切れ目ない支援体制が整うと考える。

本市における産婦健康診査導入、産後ケアの連携、経済的負担の軽減、家族へのサポート、支援につながりにくい方へのアウトリーチ (訪問支援) 強化について、市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 産後うつリスクの早期把握のあり方について問う。
- (2) 産婦健康診査の導入と産後ケアとの連携強化の考えについて問う。
- (3) 産後ケア事業及び家族へのサポート強化について問う。
- (4) 未受診者層など孤立しやすい母親への重点フォローの体制について問う。

質問事項

2. 不育症支援について 【補助資料 有・無】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

不育症や流産・死産を経験された方への行政支援は周知が十分でなく、当事者の心理的負担や相談しやすさの課題が残っていると感じる。

妊婦のための支援給付金が本年度よりこれまで対象外であった流産・死産、新生児死亡等の場合においても給付対象となる場合もあり、市との接点が増える今こそ、情報提供、医療機関との連携、検査・治療への助成、心理的ケアの充実など、切れ目のない支援に取り組むべきでありそのあり方について、市の考えを問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 不育症に関する情報提供や個別支援の現状について問う。
- (2) 検査や治療に対する助成制度の検討について問う。
- (3) 産後ケアや相談できる場・同じ経験者とのつながりの場の整備について問う。
- (4) 流産・死産後の心理的ケア体制の必要性と今後の方針について問う。

(一般・代表)質問通告書

会派名 おごおり創志会

小郡市議会議長 井上 勝彦 様

小郡市議会議員 大場美紀

質問事項

3. 飼い主のいない猫対策と高齢化に伴う飼育放棄防止策【補助資料 有・**無**】(市長)

質問要旨 (課題・問題点等)

飼い主のいない猫に関する苦情や相談が増加しており、地域環境や住民生活への影響が懸念される。また高齢化が進む中で、入院・施設入所等により飼育困難となり、結果として猫が遺棄されるケースも増えている。地域猫活動の支援強化や、飼育放棄防止の仕組みづくりが急務であると考え、現状と今後の方向性について問う。

質問明細 (具体的に)

- (1) 飼い主のいない猫の現状把握について問う。(相談件数、苦情内容など)
- (2) 地域猫活動に対する市の支援体制について問う。
- (3) 高齢化に伴う飼育困難・飼育放棄の予防策について問う。
- (4) 適切な飼育について、遺棄行為を禁止する啓発強化について問う。